

## 平成 30 年度 第 1 回新宿区障害者自立支援協議会 議事要旨

### I. 開催概要

- 1 日時 平成 30 年 7 月 26 日（木）午後 3 時 30 分から午後 5 時 20 分まで
- 2 場所 本庁舎地下 1 階 11 会議室
- 3 出席者 高橋（幸）委員・河村委員・伊藤委員・門間委員・原沢委員・屋代委員・今井委員・内藤委員・友利委員・小川委員・佐藤委員・中澤委員・高橋（郁）委員・宮城委員・高橋（秀）委員・飯島委員・和賀委員・廣川委員・石川委員
- 4 欠席者 三浦委員、伴委員、石丸委員 3 名
- 5 事務局 太田障害者福祉課長・小林福祉推進係長・諏方福祉推進係主事・森事業指導係長・松浦事業指導係主任・関根相談係長・根本支援係長・カエベタ保健予防課長・池戸保健相談係長・鈴木四谷保健センター保健サービス係長

### II. 委員の委嘱・紹介

- 1 委嘱
- 2 委員の紹介
- 3 会長・副会長の選出  
会長に高橋幸三郎委員、副会長に河村ちひろ委員が選出された。

### III. 平成 30 年度障害者自立支援協議会の運営等について

1. 障害者自立支援協議会及び各部会について  
事務局より説明した。
2. 差別解消推進部会長・相談支援部会長の指名  
差別解消推進部会の部会長に今井委員、相談支援部会長に友利委員が指名された。

### IV. 区からの報告事項

- 1 平成 30 年度障害者福祉課の主な事業について  
事務局より説明した。  
【意見交換等】
  - サービス利用ガイドの 3 ページをよく見ている。新宿区障害者計画（概要版）の 8 ページに同様の図がある。こちらの図のほうが見やすいと思っている。

## **V 議事**

- 1 平成 29 年度障害者差別解消法の推進に係る区の取り組みと相談事例について事務局より説明した。

### **【意見交換等】**

- 10 月 1 日に施行される東京都障害者差別解消条例の第 1 条に書かれた目的を読むと、特に具体的なことを何かするわけではなく、法に決められていることを都に移し替えただけ。努力義務が法的義務になったことはあるが、それ以上はない印象。これをもとに、今後実現に向けて運動を含めどのように踏み込んでいくかは期待。
- 条例施行の前に、区民が障害者差別解消法を理解しているのかという問題点が指摘されている。当事者の側にもまだ認知がないというなかで、事業者に対しても課せられてくる。関連する団体や事業者へは区からの広報、PR が行われると思うが、やはり区民へ知ってもらうことも大切だと思う。差別解消法や障害者差別に理解のない区民にどのように PR していくかも検討してもらいたい。
- 例えば車いすを使う場合、住宅にスロープを設置すると区から補助が出る。お亡くなりになって元に戻す必要がでてきた。撤去してくれないかと区に頼んだら「撤去代は出ない」。そこでお金がかかる。結局その家主は自分のお金で撤去して次の方を入居させる。障害者の方で入居するとき、例えばお金を持っている人はどうにでもなる。一方区を頼りにして入居する場合、生活保護を受けている方とか、お亡くなりになったときにそれを誰が引き取ってくれるのかという問題が起きてくる。新宿区支部では遺留物を勝手に処分できないから弁護士に相談したところ、勝手に処分してはだめで、保険でお金をだすよう言われた。住宅課に「区で倉庫みたいなものを作って一切管理してくれればぐるぐる回る」と相談したが予算は取っていないと言われておしまい。障害者を簡単に善意で入れるのはいい話だと思うが、障害者の方を入れる障害がいっぱいある。一つ一つなくしていこうとしているが、うまくいかない。

- 2 「社会資源マップ第 4 版」の作成について事務局より説明した。

## **VI その他**

- 1 次回開催日について  
後日事務局より案内することとした。
- 2 メールアドレスについて

事務連絡以外に、委員間の情報伝達や研修案内をメールで送ることとした。

3 東京都自立支援協議会交流会について

平成30年8月28日(火)午後1時30分から午後5時まで、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催が予定されている。詳細はメールで案内することとした。

4 その他

今後の障害者自立支援協議会のあり方について意見交換した。

【意見交換】

- 年2回の開催では動きがわからない。自立支援協議会の役割とか目的とか、どういう方向に進んでいくのか話したほうがいい。具体的なことひとつでも協議会として前進できるようなまとめ方、関わり方がしたい。
- 今は事務局側で議案を用意してもらってそれに関して話し合うというやり方をしているが、委員が自立支援協議会をどのような形で今後活動させていくかということについてやっぱり議論する場を一度ちゃんと設けたほうがいいのかもしれない。それを年2回の自立支援協議会の真ん中に1回入れて、その1回をそういう場にするとか、部会が何をやっていくのかについて、そういう場を一度設けてもいいのかなど。
- せっかく専門分野の方がいらっしゃるし色々な問題が山積みだが、聞こえてきていない。聞こえてきた問題を委員の中で調整できることもあるし、また相談支援をどこに持っていったらいいのかもできる。区で生活している障害者の抱えている問題をみんなで共有してより新宿の街で住みやすい場所を作っていくという顕著な意味があると思う。
- (事務局) 次第4の「自立支援協議会の運営について」で議論をいただきたいと思っていたところだが、最後にこのようなご意見をいただいたので、回数を増やし、あり方について協議していただく。日程調整については追ってさせていただきます。皆さんご了解いただければそのように開催したいと思う。

(17:20 閉会)